

# ひまわり通信

## SSKS

### No.91



## 世田谷区保健福祉部調整課より 福祉車両を寄贈して頂きました。

代表理事 隅 一 清

平成最後の年を迎えました。私は昭和、平成、次の元号で三代の元号を経験出来るのですが、長寿の方は明治、大正も入るので五代の元号を経験出来るので素晴らしい事です。

私の若い時は人生五〇年と言われていましたが、今は人生一〇〇年の時代になっています。終戦直後は、道端のハコベを食べたり、小麦粉の皮のフスマ等を食べたりしていたので、何でも手に入るコンビニ二時代が来るとは想像も出来ませんでした。

当会の移送サービス事業も今年で二十四年目を迎えました。水間さんが野沢の一角で高齢者や障がいのある方を集めて今のデイサービスの様な集まりを開いていたので、必然的に送迎が必要になり国産車のバンに外国製のリフトを取り付けて車イスの方の送迎をしていました。当時の金額でリフトだけでも百万円したと聞いています。専任のドライバーに

は固定給で三十万円近い給料を支払っていました。

平成十八年に東京都から頂いていた六百五十万円の助成金が打ち切られ、翌年から世田谷区の助成金がトリップの数のよって支給される事になりました。初年度は八十万円助成金になり、専属のドライバーにも辞めてもらい、持込車両三台と会の



車両一台で、給料制は廃止して移送料の七〇%を支払う方式に変更しました。ひまわり通信の19号〜21号には当時の資金繰りが如何に大変だったかが載っていました。トリップも今では5000トリップを超えて、助成金が増える事は当面ありませんが、世田谷区にトリップの上限を変更するように要望していく考えです。

現在、会での車の所有台数は八台と持込車両五台の計十三台(詳細は次頁参照)を、登録ドライバー十六名で、毎日の移送業務を行っています。駐車場も野沢近辺に四台、砧に二台、狛江、仙川に各一台停めてあります。

今年三月に区の保健福祉部調整課より、福祉車両シエンタを一台寄贈してくれる事が決定しました。昨今は車イス利用者が多くなり、チェアキャブは連日透析の方の移送に使用し、ダイハツも稼動すると一人の移送でも十人乗りのキャラバンを使う事になり、燃費の上でもかなり問題がありました。シエンタは車両も小型で、車イス一台とドライバーの他に二名乗れるので、付添いのヘルパー等も脇に乗れます。助手席の椅子はリモコンで下まで降りて来ますので、足腰の悪い人でも乗降が楽に出来ます。

車両価格二百二十九万円を全額、助成して頂くことになりました。会では、税金と保険料で三十万円とカーナビを載せる費用が必要となります。尚、私が最初に会に寄贈したマークII一号車が走行距離十五万キロを越えているので、今回この車を下取ってもらいますので、会の所有車両台数は変わりません。



## 平成31年度福祉移送車両一覧表

平成30年12月末現在

	車種	登録ナンバー	走行距離(km)	駐車場所	寄贈者名
1	トヨタ ノア①	世田谷 500 さ 5437	65,000	野沢事務所	大熊様
2	トヨタ ノア②	世田谷 500 さ 8672	68,000	狛江駐車場	大熊様
3	トヨタ マークII①	品川 300 め 4908	150,000	仙川駐車場	隅
4	トヨタ マークII②	品川 301 せ 3745	95,000	野沢事務所	会所有
5	ニッサン チェアキャブ	品川 800 せ 3083	117,000	野沢事務所	日本財団
6	ニッサン キャラバン	品川 800 す 7667	160,000	砧(区より借用)	日本財団
7	ダイハツ ハイゼット	品川 880 あ 1731	45,000	砧(区より借用)	日本財団
8	トヨタ エスティマ	世田谷 300 そ 8635	56,000	碑文谷駐車場	石井

※平成31年3月に世田谷区からシエンタを1台寄贈してもらう時に、マークII①を下取りに出す予定。

### 31年度 持込車両

1	宇津木ドライバー	BMW
2	小川ドライバー	トヨタ ノア
3	坂本ドライバー	スバル レガシー
4	荻原ドライバー	三菱
5	野口昌彦ドライバー	トヨタ カローラ



※持込車両には毎月2,000~5,000円のガソリン代を支給しています。

## ひまわり句会

菅野孝夫 選

神宮の銀杏紅葉や天を突き  
池の水に映りて冬の紅葉かな  
冬めくや利根川またぐ送電線  
仏前に一輪白玉椿かな  
浅草の神や仏や初詣

亀井 歌子

下仁田の葱の甘さや舌にとろけ  
初日の出三浦半島金色に  
初春や嬰兒の名は正太郎  
春日部の羽子板最中お正月  
冬うららら和菓子をお包む紙の色

小田原郁代

初雀となりの屋根に飛び跳ねて  
寒中や水飲んでゐる犬の舌  
コーヒーシヨップ一面の窓寒波来る  
窓際のテーブルに来て冬の蠅  
飛行機の点滅信号月冴ゆる

大谷のり子

目薬を一滴さして霜夜かな  
柚の香に夜も更けたる湯浴かな  
冬ぬくし清めて撫でて夫の墓  
年暮るる父の焚火の煙かな  
新年や眼鏡を拭いて空を見て

宮澤みどり



# 行事報告

## ◎紅葉狩りの旅長瀨

十一月十八日(日)

長瀨と言えば舟下りが有名ですが、月の石もみじ公園の周辺は、紅葉が見事で大勢の人で賑わいます。問題はマイカーは公園のそばの駐車場に停められますが、観光バスはかなり離れた所に停めるので、車イスの方やお年寄りには無理があります。そこで公園の前にある自然博物館を見学する条件で、その駐車場を確保して見学後に公園を散策しました。

昼食は寄居のかんぼの宿で戴き、希望者は入浴も出来ました。

天候にも恵まれ、ゆっくり紅葉狩りが出来ました。舟下りをしたい人もいたのですが、日曜祭日は、乗船待ちが一時間〜二時間とか・・・とてもスケジュール的に無理でした。

参加者 三十二名



## ◎小田原早川みかん狩り

十二月六日(木)

昨年は台風が二度も上陸したので、一部報道では海からの潮風で木の葉が変色したり、果物にも被害が出たりと載っていたので、心配をしたのですが・・・早川のみかん山は、海からはかなり離れて山の上にあるので被害はなかったとの事で安心しました。

例年の如く、山の会の友人の中村さんと護タクシーの望月さんにマイクロバスを運転してもらい、野沢を出発しました。

小田原一夜城公園の駐車場トイレ休憩をしてから、みかん山のみかん狩りをしました。今年のみかんは粒が大きく重みで枝が垂れ下がっていて、下の方は腰をかがめないと取れない程でした。

取ったみかんとお土産のみかんを車に積んで、食事処の湯河原に向いました。

いつもは真鶴

半島の魚市場の二階で食べるのですが、今年にはニューウェルシティ湯河原で予約をして、昼食を頂きました。帰りはいつもの如く鈴廣のかまぼこセンターで買物して、野沢に向いました。参加者二十四名



## ◎区民ふれあいフェスタ

十二月九日(日)

連協の団体の中で、障害がありながらも自立で生活している方や、努力している方を毎年障害者週間のこの間に表彰しようと企画された区長表彰に当会の菊地秀彦さんを推薦しました。彼は当会ではボランティアとして、いつも障がいのある会員の車イスを押ししたり、付き添いをしてくれたりしています。普段は会社に勤務していて、今回社長さんからも推薦状を書いて頂きました。彼は今、一緒のホームに居る宮本利恵さんの旅行参加にボランティアとして、参加してくれています。



## 区民ふれあいフェスタ展開催!

今年も、書道、俳句、絵手紙などの教室で皆様が努力した作品を展示しました。

手前の机の上には、平成三十年度のひまわり旅行や行事の写真パネルにして展示しました。

新年会から忘年旅行まで、毎月何かしらの行事をやっているのが良く解ると、皆様感心して頂きました。ご苦労様です!





# 忘年旅行会

## 九十九里かんぽの宿 旭

十二月十六日(日)

一昨年は、身体障害者福祉協会の杉田会長の体調が悪かったので、当会のみで行ったのですが、今回は会長の体調も良くなられたので、合同で行う事になりました。

うちの会では野沢出発九時だと、移送車両一〜二台で七時頃から、参加者宅を廻って四〜五人乗せて野沢に八時四十分頃に到着するようにしているのですが、会長の会は大型バスで、参加者宅も廻るので、出発まで一時間以上かかるので大変です。野沢に八時に集合して、首都高速に乗ったのは九時半を過ぎていました。

旭に到着して、もちつきの準備をして宴会が始まりました。美味しい料理と新鮮なお刺身で、皆さん大喜びでした。

九階の展望風呂で眼下に広がる太平洋を眺めたり、つきたての餅を食べたり、一年の疲れを忘れる旅でした。

十二月は行事が多いので、普段の月の倍は疲れます。三日連続の忘年会も控えているので…。

参加者 二十四名



# 行事予定

## 三月 花を訪ねての旅

古河桃まつり 三月二十四日(日)

三月は梅は遅いし、桜は早いし、チューリップは開花時期が短いし、と毎年悩んでいます。そこで、久しぶりに古河の桃まつりを見に行こうと思います。ここは古河総合公園の中に桃の木が一五〇〇本程植えてあり、三月中旬から四月上旬までの期間で桃まつりが開催されます。

古河桃むすめのコンテスト等や、広場には物産展や舞台も設置されて、連日催し物が開かれています。



◎日時 三月二十四日(日) 九時野沢出発  
 ◎行程 野沢〜首都高速〜川口J.C.〜東北道〜加須I.C.〜

古河桃まつり会場〜昼食〜道の駅〜東北道〜野沢

◎会費 一人 八千円 (個別送料千円)

※参加希望者は三月十日までにお申し込み下さい。

# 編集後記

先日、二月のドライブの下見に小田原の曾我梅林に行って来ました。梅はまだほとんどが硬い蕾でしたが、早咲きの梅の向こうには真っ白な富士山が見事でした。

帰り道に二宮の愛宕山公園の菜の花が見頃だと、テレビでやっていたので寄ることにしました。

事前にネットで調べていたのである程度は覚悟していたのですが・・・いきなり三〇〇段の階段で、手すりにつかまって、三段登っては休み、五段登ってはベンチに座って休憩！昔は山男で、北アルプス等重いキスリングを背負って登ったのに・・・、と我が身にムチ打って、

どうにかこうにか山頂に着いて、見事な菜の花を見て、感激！

真っ白な富士山、逆光に光る海など、しばし見ほれていました。

S記



## 「ひまわり通信」91号

2019年2月5日発行

編集 特定非営利活動法人

編集責任者 ヒューマンハーバー世田谷 隅一清

住所 世田谷区野沢3-4-18-102

FAX 03-3487-5081

Tel 03-3422-9281

発行人 障害者団体定期刊行物協会 世田谷区砧6-26-21 (定価100円)